



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第48号

令和元年7月

大きく美味しいなれ!



自然・環境部のみなさん
『まちづくり農園』さつまいも苗植え（6月3日撮影）



発行：市辺地区まちづくり協議会／東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392
ホームページ 万葉のまち市辺 ichinobe.com



ichinobe.com

万葉のまち市辺

市辺地区まちづくり協議会 令和元年度 定期総会

5月13日（月）午後7時30分より、市辺コミュニティセンターに於いて令和元年度市辺地区まちづくり協議会定期総会が、総数109名中87名（内委任状37名）の出席者で開催されました。

定期総会は、田中岳二 長谷野自治会長を議長に選出し、平成30年度まちづくり部門ならびに平成30年度コミセン部門の事業報告、収支決算報告、監査報告があり各々賛成多数で可決承認されました。続いて令和元年度まちづくり部門ならびに市辺コミセン部門の事業計画（案）、収支予算（案）の審議がされ賛成多数で承認されました。

また、令和元年度まちづくり協議会の新役員提案が市辺地区自治会連合会長より、副会長に戸田昭仁氏（船岡自治会長）、会計監事に田原秀郷氏（布施自治会長）、川居徹也氏（柏自治会長）の3名が推薦され賛成多数で承認されました。



市辺地区まちづくり協議会 令和元年度役員

役 職	氏 名 (敬称略)	(任期・自治連推薦は1期1年、その他は1期2年)
会 長	須田 智廣	(まちづくり委員・3年目)
副 会 長	戸田 昭仁	(船岡自治会長)
〃	平尾 彌一	(社会福祉協議会長・3年目)
〃	柴田 俊幸	(まちづくり委員・1年目)
事務局長	高頭 勇次	(まちづくり委員・3年目)
コミュニティセンター業務主任者(館長)	木田 行男	(コミュニティセンター館長・3年目)
会 計	福島 芳嗣	(まちづくり委員・1年目)
会計監事	田原 秀郷	(布施自治会長)
〃	川居 徹也	(柏自治会長)

市辺地区まちづくり協議会『まちづくり部門』 令和元年度 収支予算

(単位:円)

収入の部	支出の部	予 算 額
科 目	科 目	予 算 額
繰 越 金	事 務 費	264,079
交 付 金	会 議 費	1,472,000
助 成 金	広 報 部	27,000
雑 収 入	子 供 健 全 部	136,921
合 計	安 全 安 心 部	1,900,000
	歴 史 文 化 部	
	自 然 環 境 部	
	地 域 活 力 部	
	健 康 福 祉 部	
	負 担 金	
	予 備 費	
	合 計	1,900,000

市辺地区まちづくり協議会『まちづくり部門』 令和元年度 事業計画

1. 役員・事務局

- 市事業への積極参加
 - 14地区合同事業、研修会、交流会、フォーラム等
- 協働事業の推進、人材の育成
 - ・コミセン・各種団体との共催事業の企画立案、地域減災・防災の取組検討
 - ・減災プロジェクト4年目の取組
- 事業資金の研究(各種補助金等)
- 指定管理事業の充実

【まちづくり部会 活動計画】

2. 広報部会

- 広報誌「万葉のまち市辺」No.47号～50号の発行各1,350部
- ホームページを更新(随時)

3. 地域活力部会

- ムラサキプロジェクト事業
- 万葉フェスタ参画

4. 子ども健全育成部会

- 各種団体とのコラボ事業推進(テーマ:子どもたちの豊かな心を育む)

5. 安全・安心部会

- 地区安全パトロール(夏・年末)の参画
- 普通救命講習(AED)の実施
- 減災のまちづくり事業の推進
- 新たな取組挑戦

6. 自然・環境部会

- コンポスト普及事業「善玉菌で美しい地球を!」
- まちづくり農園事業
 - ・さつまいも作り(小学生・園児とのふれあい)
新規取り組み先の開拓・働きかけ
(布引小学校・ゆいの杜こども園)
 - ・大豆播種、豆腐作り
- 環境学習(日帰り研修旅行)
- 出前講座
 - ・ゴーヤ播種
 - ・ゴーヤ、サニーレタス苗配布

7. 歴史・文化部会

- 市辺きし発見塾
 - ① DVD作成(地蔵盆)と完成お披露目会
 - ② 歴史セミナー
- 第7回蒲生野万葉短歌会の開催
10月27日(日) 表彰式(万葉フェスタ会場)

8. 健康・福祉部会

- 健康・生活習慣病と改善(マクロビオティック教室)
- 福祉・認知症の取組(地区社協と共に)

ごあいさつ

皆さん こんにちは
日頃は、まちづくり協議会の諸活動に対しまして、ご支援ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

さて、市辺地区まちづくり協議会は、発足以来早や12年目に入りました。平成24年10月には市辺コミュニティセンターの指定管理者として運営を市から委託されました。以降、コミュセンをまちづくりの拠点として、様々な活動に取り組んでいただき、他市等の団体から視察に来られるなど活動も定着してまいりました。

これは、まちづくり協議会の各専門部のまちづくり委員さんの献身的な活動はもちろんのこと、自治会連合会をはじめ、各種団体のみなさんとの強い連携により、活動をすすめていただいた結果であります。これまでの取り組みに対し諸先輩方に深く敬意を表しますとともに、今後におきましても、皆様方からいろいろな提案（言）をいただきながら進めてまいりたいと思います。令和元年の活動にも引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

市辺地区まちづくり協議会 会長 須田 智廣

みなさん こんにちは

平素は市辺コミュニティセンター事業にご支援ご協力誠に有難うございます。

新元号の話題が多い中、元号は文化であり、新しい時代の目標となる価値観とも言われています。素晴らしい「和」の精神を世界に広めていくという目標は新たな時代にふさわしいものだと思います。

木田 行男 コミセン館長

市辺地区では「総合エリア研究会」の立ち上げで新たな時代の目標に向かって地区住民の皆さんと共に考えて行きたいと思います。

研究会では市辺幼稚園跡地活用を含めた交流の場、生涯学習の場、憩いの場などの活動の拠点づくりを話し合っていきます。また、自然災害への備えも必要と考えます。市辺地区住民の皆さんが明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる令和の時代になることを願っております。皆様方のご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

市辺コミュニティセンター 館長 木田 行男



案内看板が設置される

布施山城遺跡(ふせやまじょういせき)

布施山城遺跡に向かう登山口に案内看板が設置されました。是非、遺跡を訪ねられて往時を偲んでみませんか。看板に書かれている説明文の一部をご紹介いたします。

布施山城は、玉緒（布施）山（標高約240m）の頂上に築かれた六角氏家臣布施氏の山城です。頂上からは北西に觀音寺城跡、北に小脇山城跡、北東に八日市、八風街道、鯰江城址や百濟寺を望むことができます。広く視界が開けていて、戦国時代の軍事的な要衝でした。

布施氏は主に布施三河守家と布施淡路守家に分かれています。布施山城は本家筋である布施三河守が城主であり、布施淡路守は大森城主（東近江市大森町）と伝わります。

【中略】永禄九年（1566）には北近江の浅井氏と呼応して六角氏に反乱を起こしました。この時、浅井氏は五個荘小幡町まで南下して陣を張り、尖峰は船岡山に到達する勢いを見せており布施山城が緊迫した状態であったことが知られています。

【東近江市教育委員会】



自然・環境部

楽しみながら

活動の中心はコンポスト利用による生ごみの堆肥化で、水分の多い生ゴミを可燃袋に入れることでゴミの減量になります。焼却によるCO₂の発生を抑え地球温暖化を防ぐのが目的です。環境を守ることは子どもや孫達に美しく安全な地球を贈ることに他なりません。

コンポストで生まれた堆肥を活かす活動もしています。ゴーヤの苗を育て配布したり、さつまいもを育て幼稚園児など子ども達を招いていました。レタス苗の配布は家庭で食べられる楽しみの活動です。

部員の方から「今度の作業は何時するんや？」と聞いてくれる人もいます。やれば汗もかくし服も汚れます。そんなしんどい仕事を、しかも無償なのに「集まってくる人が皆良い人だから楽しみだ」と言われています。夏は涼み会、冬は忘年会で疲れを癒し、そして年に一度の見学研修は地域の皆さんと共に、環境に配慮した工場や施設の見学をしています。

市辺地域の皆さんの環境意識の高まりと健康に期待して、楽しみながら活動を続けています。



ゴーヤ苗の配布

自然・環境部 部長 小西 恵美子

部会だより

健康・福祉部

各自治会から推薦された、まちづくり委員の中から10人が健康福祉部へ入っていただきました。市辺地区まちづくり計画では、『地域で支え合う健康と福祉のまちづくり』が福祉部のテーマになっています。

本年度は、事業計画に加えて健康福祉に関する各団体と連携を取り合いながら活動を進めていく予定です。

- 「健康と福祉に関する講演会」の開催
- 「健康づくりする場への参加実践」をPR
- 「高齢者や障がい者のふれあいの場」の推進

また、機会があれば他の団体と一緒に健康食作りも行ってみたいと思います。いずれにも皆さんのご協力、ご参加をお願いいたします。

健康・福祉部 部長 今井 肇

地域活力部

今年3月8日に、ミニポット60個にムラサキの種を蒔きました。3月後半から4月初旬に約15本芽を出し、その後数センチから10センチ程度まで生育したのですが、4月下旬から5月上旬に苗の元気がなくなり、5月中旬には全部枯れました。八日市南高校の先生に問い合わせたところ「今年は大変生育が良くない」とのことでした。万葉公園の植栽分として10本程度依頼しているところです。

5月25日(土)午前10時から万葉公園において、新会員とともにムラサキを育てる為の勉強会をしました。

地域活力部 部長 森島 安夫

子ども健全育成部

部会の中で、未来に向かって羽ばたく子ども達と「どう向き合い、どう接し、何をすれば良いのか?」と皆で考えた末に、やはり今年も一人でも多く参加してもらえるのは「万葉フェスタの中での凧作り」ではないだろうか、ということになりました。

子ども自身に自分のお気に入りの絵を書いてもらって、世界でたった一つだけの自分の凧を作ってもらい、その凧に大きな夢をのせて大空へと揚げよう!

傍で見守る子ども健全育成部の部員も、今年度は3人増え7人となりました。私たち部員も子ども達と共に、揚がっていく凧に夢をのせて、お手伝いをしたいと思います。

子ども健全育成部 部長 中村 好美

歴史・文化部

今年度の計画は、例年の講演会の開催で地区のキャッチフレーズでもある「万葉のまち市辺」を広くPRするため、9月下旬頃「万葉集について」、来年2月に「蒲生氏郷の足跡」(仮題)を計画しております。現在、講師の折衝を進めていて、決定次第「チラシ」などでお知らせしますので多数の参加をお待ちしています。

今年2年目となる「御代参街道を歩く」を11月に「長谷野～日野」を予定しています。次に、地域に残る行事として各町で行われている「地蔵盆」のDVDを制作します。

現在、部員が聞き取り調査を行っており、これを基に8月下旬に撮影開始です。

最後になりましたが、今年度から「苗村久男」が部長を担当することになりましたので、前任者同様よろしくお願いします。

歴史・文化部 部長 苗村 久男

安全・安心部

今年度は、以下の内容で活動を進めていこうと考えています。

- ①夏期及び年末の防犯パトロールへの参加
- ②普通救命(AED)講習会開催
令和2年2月頃を予定しています
- ③減災プロジェクトへの参画

また、昨年の万葉フェスタの折に非常食の試食会として塩おにぎりを来場の皆様に試食していただき好評でしたので、今年度も類似のものを実施したいと考えています。

最後になりますが、災害の中で特に地震については不意に発生し被災する危険性が非常に高くなっています。地震対応を主とする減災プロジェクトの活動を通じて、安全・安心部でもできる、独自の新たな取組みを摸索していこうと考えています。

安全・安心部 部長 柴田 俊幸

広報誌「万葉のまち市辺」の編集方針について

- 今年度の表紙テーマは「各部の事業(行事・イベント)参加者の表情」ができるだけ豊かに伝えたいと思っています。4月号は、歴史・文化部の「歴史発見塾」(古文書に触れてみませんか)を掲載しました。
- 2面は、その時々の「大事な行事」や「伝えること」を中心にしながら、シリーズとして、「特集・減災を考える」を掲載します。
- 3面は、市辺地区各町とまち協のトピックスを中心にし、シリーズ「このまち『この人』」や前回紹介した「薬師堂の『裸祭り』」など地域行事なども取り上げます。
- 4ページは6つの部会から発信される「部会だより」です。このコーナーは長い間、各部の公平を大事にし、やや羅列型になっているので再検討をしたいと考えています。
- 年4回と限られた発行であり、できるだけ多くの方に読んでいただける紙面にしたいと思っていますので、皆様のご意見やご要望を是非お寄せください。



今年で後期高齢者になるが、高齢者の自動車事故を報じるニュースが相次いでいる。県内でも保育園児を巻き込む悲惨な事故が発生したが、身につまされる。ネット上では「高齢者は免許証を返せ」の大合唱であるが、買い物、通院、会合などどうすれば良いかと悩むところだ。都市部と違い交通網の薄い地域で暮らしている私には「十分気を付けて乗りります」としか言えないのが辛い。(明)